ふぁみいろネットワーク
第 1 期（2022 年度）事業活動報告書

2023.3.3.
文責：三原さやか

1. 第 1 期（2022 年度）の事業方針について

ふぁみいろネットワークは、特定生殖補助医療（卵子提供、精子提供、代理懐胎等）の当事者を支援し、この領域の当事者の福利の向上にむけた社会科学的研究の推進、社会における理解の啓発を目的として、2022 年 11 月 3 日に発足した。設立発起人は、共同代表の菊地かをり、三原さやか、佐伯英子の 3 名である。

初年度は、ホームページの立ち上げと、共同代表の個人 SNS（Twitter、Ameba ブログ）での情報発信を行ない、認知度の向上につとめた。年度内に、新規会員として、研究チームに 2 名、ピアサポートチームに 1 名が増員となった。

2. 事業報告

① 当事者の交流活動支援事業（雑談会）

特定生殖補助医療当事者の相互交流を支援する目的で、「第 1 回ふぁみいろ雑談会」を 2023 年 2 月 25 日 10:00～12:00 に東京ボランティア・市民活動センター会議室 A にて開催した。

・参加者：18 名（うちスタッフ 6 名、子ども 1 名）
・事業収入：会費 500 円×11 名＝5,500 円

② 当事者の交流活動支援事業（LINE オープンチャット）

孤立しがちな当事者の相互交流を促進するため、LINE のオープンチャットを 2023 年 1 月 4 日に開始した。2023 年 2 月 28 日時点での参加者は 58 名。

③ 理解啓発事業

精子提供に対する社会の無理解と、精子提供実施施設に対する逆風を踏まえ、実施施設に当事者の感謝の声を届ける「サンクスレター・プロジェクト」を実施した。

・Google Form に寄せられた当事者の声：37 件
・送付先の実施施設：3 件
・反響：送付施設のうち、はらメディカルクリニック（東京都渋谷区）から、アンサーレターとして院長･スタッフのビデオメッセージを Twitter 経由で受け取った。
https://twitter.com/haralabo/status/1616288816289181699

④ 研究推進事業

特定生殖補助医療に関する研究推進のため、研究班の定期ミーティングを毎週月曜 15:30～17:30 に実施した。

3. 運営に関する事項

① 総会の開催について

設立時総会を 2022 年 11 月 3 日にオンラインにて開催した。参加者は発起人で共同代表の 3 名（菊地かをり、三原さやか、佐伯英子）であった。

② 会員について

第 1 期終了時点での正会員数は 6 名、賛助会員は 0 名であった。

③ 預金管理について

預金管理は菊地かをり共同代表の個人口座を暫定的に利用した。第 2 期以降の団体の活動拡大に向けて、任意団体としてのゆうちょ銀行総合口座とみずほ銀行口座の開設手続きを開始予定。

④ 第 1 期収支決算書について

第 1 期収支決算は、第 2 期定期総会配布資料 2 として別に示す。

以上